

株式会社リビングライフ 代表取締役 入社式の挨拶

入社おめでとうございます。

新入社員の君たちは、まだ大学を卒業して間もないが、今度は“日本”という社会の大学に入ったと思ってほしい。君たちは、その中の“リビングライフ”という分校に入ったようなもの。学校での勉強は終わったが、社会人としての勉強は今始まったばかりだ。

人が目指すべき道を見出すのは簡単ではない。リビングライフも創業して27年経つが、経営理念に至るまでに25年かかった。ようやく会社として目指すべき道を見出した。

君たちがリビングライフの目指そうとしているものを理解し、自分の生きる道だと決意すれば、その道は長く続く。中には、厳しい試練に直面することもあるかもしれない。しかし、入ったからには3年は頑張るって欲しい。そうすれば、進むべき道は見えてくるだろう。その上で、自分には違った道があると思えば、それもまたよしだ。

では、リビングライフが目指すものは何か。リビングライフは“初めて家を持つ人を応援する”。そのためにリビングライフは存在する。

人は、人生の中で多くの時間を家で過ごす。日本人の寿命は長くなるとともに、人が家で過ごす時間はますます増え、家の重要性も高まっている。人は家に生まれ、学生寮や賃貸アパートに引っ越し、やがて独立し、家を持つ。自分で購入した家は、住み心地が良いし、資産として残るため、家計にも余裕ができる。自分で購入した家には、たくさんの幸せが詰まっている。だからこそリビングライフは“初めて家を持つ人を応援する”。

君たちの多くは、家を販売するのが主な仕事になるが、君たちは家を通して社会に安心や安全を提供している、幸せを提供しているのだと思ってほしい。

それは、一生を貫くことのできる仕事だと自信を持ってほしい。
目指すべき先輩を見つけ、お互いに切磋琢磨し、皆で成長してほしい。
そして社会人としての自覚を持って欲しい。

リビングライフの発展は、社会の発展、そして日本の発展につながる。

そのためには君たちの力、そして成長が必要だ。

私も先頭に立って頑張る。

君たちの成長、活躍を大いに期待しています。

これからよろしくお願ひします。

2017年4月10日

株式会社リビングライフ 代表取締役 炭谷久雄